

SRF工法
による

倒壊防止補強

東日本
大震災での
無被害事例



合理的な
地震対策として、
実績があります。

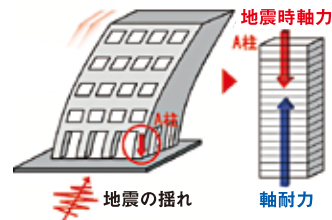
熊本地震での
無被害事例



建築基準は、大地震に対して倒壊等を生じないことを目標にしています。SRF工法による倒壊防止補強は、主要な柱をしなやかな高延性材で巻きたてることで倒壊を防止する補強法です。設計にはIf値(倒壊危険度)を用います。



地震による建物倒壊の例



If値(倒壊危険度)は、地震の際に柱を潰そうとする力(地震時軸力)の柱の強度(軸耐力)に対する比です。すべての柱について、If値が基準値(1.0)を下回れば、柱は潰れず建物は倒壊しないといえます。

特徴

- ◆ 柱を補強して層を支えて崩壊を防ぎます。
- ◆ ピロティ部分だけ補強しても効果があります。
- ◆ 耐震診断は必要ありません。
- ◆ 東日本大震災、熊本地震等、耐震基準の想定を大幅に超える震災で倒壊防止はもとより、揺れを抑える効果が確認されています。

実績

全国の庁舎・病院・学校・事務所ビル・マンションなどで、耐震基準値クリアの補強だけでなく、倒壊防止に目的を絞った安全確保の補強実績も多数あります。



茨城県内庁舎



東京都内病院



宮崎県内学校



東京都内事務所ビル



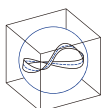
福岡県内マンション

倒壊防止補強案
作成サービス

お問合せ

図面や耐震診断報告書などの
資料を受領しご要望を伺います。

補強案作成



構造品質保証研究所

メール square@sqa.co.jp

HP <http://www.sqa.co.jp>

SRF

検索

TEL 本社・中央研究所：04-7189-7621 大阪：06-6136-3816 福岡：092-273-0007